

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan・Do											Check						Action																
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など(妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性【H28以降】													
								事業の目的	年度	対象者等※ハード事業の場合は、人数を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	名称	H25決算	H26決算						H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案									
3	1-③	特別活動推進経費(小学校)	教育委員会	学校教育G	H14	-	ソフト	一般会計	<p>集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。</p>	H25	小学生(小学校学習指導要領)	各学校の特色や児童の発達段階などを踏まえ、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等に必要物品等を購入した。	小学校学習指導要領	児童数	人	2,246	2,402	2,510	2,510	2,510	2,510	国庫支出金										H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「小学校学習指導要領(第6章特別活動)」で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。	今後も集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図っていく。					
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債															H26	上記のとおり			
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般財源	238	200	248	248	248	248	合計	238	200	248				248	248	248	H27	上記のとおり
4	1-③	特別活動推進経費(中学校)	教育委員会	学校教育G	H14	-	ソフト	一般会計	<p>集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を助長することを目的とする。</p>	H25	中学生(中学校学習指導要領)	各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等に必要バスの借上げや物品等の購入を行った。	中学校学習指導要領	生徒数	人	1,161	1,145	1,295	1,295	1,295	1,295	国庫支出金										H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「中学校学習指導要領(第5章特別活動)」で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。	今後も集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図っていく。					
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債															H26	上記のとおり			
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般財源	1,942	2,263	2,830	2,830	2,830	2,830	合計	1,942	2,263	2,830				2,830	2,830	2,830	H27	上記のとおり
5	1-③	自然体験学習推進経費	教育委員会	学校教育G	H14	-	ソフト	一般会計	<p>地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育てることを目的とする。</p>	H25	小学生5年生・中学生1年生	ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や故事遺蹟などの自然体験学習を行うために、児童・生徒の移動に必要なバスの借上げを行った。 【対象学年等】 各小学校5年生(参加児童数7校315名) 各中学校1年生(参加生徒数2校201名) 【内容】 ・1日目:自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習 ・2日目:周辺散策、昼食、帰校等	学校教育法	体験学習実施回数(日帰り)	回	2	2	5	5	5	5	国庫支出金												H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	自然体験を通じて、教室では学べない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができ、市が事業を行うことは妥当である。	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することによる児童・生徒の社会性・自主性を育てるため、今後も継続して実施していく。			
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債													H26				上記のとおり		
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般財源	521	817	1,179	1,179	1,179	1,179	合計	521	817	1,179	1,179	1,179				1,179	H27	上記のとおり
6	1-④	小中学校情報教育推進事業費	教育委員会	学校教育G	H12	-	ソフト	一般会計	<p>パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することにより、情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育てることを目的とする。</p>	H25	小・中学生及び教員	小中学校の児童・生徒用のパソコンを各小中学校に設置した。 平成25年度購入分(債務負担行為設定) 小学校児童用P C 50台 中学校生徒用P C 82台 イントラネットワーク機器 14台	学校教育法	小学校パソコン台数	台	200	200	200	200	200	200	国庫支出金											H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	特別活動は、文部科学省が告示する教育課程の基準である「小学校学習指導要領(第6章特別活動)」で実施が定められており、市がその活動を助長することは妥当である。	今後も集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図っていく。				
										H26	上記のとおり	小中学校の児童・生徒用及び教職員・事務員用パソコンを各小中学校に設置した。 平成26年度購入分(債務負担行為設定) 小学校児童用P C 158台 中学校生徒用P C 150台 教職員用P C 150台 事務用P C 15台	上記のとおり	中学校パソコン台数																										H26	上記のとおり
										H27	上記のとおり	パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用する。 平成27年度より2カ年計画でI C T機器(電子黒板・実物投影機)を導入する。 平成27年度購入分 電子黒板・実物投影機 各13台	上記のとおり		台	205	206	206	206	206	206			一般財源	18,270	38,580	37,164	32,634	28,062	3,669	合計	18,270	38,580	37,164				32,634	28,062	3,669	H27
7	2-②	P T A連合会助成金	教育委員会	社会教育G	S62	-	ソフト	一般会計	<p>研修活動や単位P T Aの連携協力等の事業を実施するP T A連合会を支援することにより、子どもたちが豊かな人間性を育てることを目的とする。</p>	H25	登別市P T A連合会	市内の小中学校及び高校のP T Aで構成される登別市P T A連合会に対し助成金を交付した。 【事業内容】 研究大会の開催、教育懇談会・交流会の開催、母親研修会の開催、広報誌の発行等	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	研修会等開催回数	回	5	2	4	4	4	4	国庫支出金											H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	地域の教育力の向上や学校保護者と教員の連携は不可欠であり、その母体となっている登別市P T A連合会への支援は今後も維持していく必要がある。	地域の教育の充実・発展や家庭の教育力向上のため、登別市P T A連合会の活動に対する助成を継続していく。				
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり																									H26	上記のとおり		
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般財源	300	300	300	300	300	300	合計	300	300	300	300				300	300	H27	上記のとおり

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do													Check		Action																
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H27)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 項目	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方向 性【H28以降】												
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施設 名称を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称	H25 決算						H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案							
13		教育施設解体事業 52231007	教育委員会 総務G(教育)	H21	H26	ハード	一般会計	児童生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H25	市内各教育施設	教職員住宅の解体、跡地整備【解体実績】登別小学校敷地内教職員住宅ブロック造平屋建て1棟 ブロック造長屋2階建て1棟	学校教育法	対象施設	棟	0	2	0	0	1	1	国庫支出金									H25以前	維持	老朽化により教育施設の改修が困難で支障をきたしている箇所を年次的に解体する必要があるため、今後も事業を継続することが相当と考えるが、教育施設全体の整備計画を考慮し、平成27年度は事業を休止し、平成28年度から計画的に事業実施を検討する。	平成27年度は事業を休止するが、今後も児童等が安全で安心な学校生活をおくれるよう、計画的に教育環境整備を実施していく。						
									H26																										H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
									H27																												H27		
									合計															0	4,677	0	0	12,100	16,320										
14	3-①	小中学校校舎改修事業 52231009	教育委員会 総務G(教育)	H19	-	ハード	一般会計	児童生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H25	市内小中学校	小中学校の校舎の老朽化に伴い校舎等の改修を行った。また、中学校便所の大便器を和式から洋式に改修した。【改修実績】緑陽中学校便所洋式化改修工事、青葉小学校給食リフト改修工事	学校教育法	対象小中学校(校舎等改修)	校	1	3	2	5	1	1	国庫支出金	学校施設環境改善交付金、地域の元気臨時交付金(H25のみ)	2,055		8,939		4,470					H25以前	維持	老朽化している施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要があることから、今後も事業を継続することが相当と考える。	公共施設整備方針を踏まえ、今後も児童生徒等が安全で安心な学校生活をおくれるよう、計画的に教育環境の整備を実施していく。				
									H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり																							H26	上記のとおり		
									H27	上記のとおり	上記のとおり実施中【平成27年度事業】梶別小学校屋外キュービクル取替工事 緑陽中学校便所洋式化工事、緑陽中学校便所洋式化工事実施設計委託 西陵中学校外壁改修工事	上記のとおり	対象中学校(便所洋式化)	校	1	0	1	1	1	0																		H27	上記のとおり
									合計															12,212	10,368	39,592	55,751	16,558	1,573										
15	3-①	小学校耐震診断等事業 52231013	教育委員会 総務G(教育)	H21	H26	ソフト	一般会計	大型地震の発生に備え、安全・安心な教育環境を整備する事を目的とする。	H25	市内小学校	耐震化優先度調査の結果に沿って、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物の耐震性能を把握するため、耐震診断(2次診断)を行った。【実績箇所】登別小学校校舎(2棟)	建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法、学校教育法	診断対象棟数	棟	3	7						国庫支出金	社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)	1,399	4,500							H25以前	終了	児童が学習する場である学校施設の地震に対する安全確保の推進が図られる。	平成26年度で事業終了。 耐震診断の結果を踏まえ、計画的に耐震改修等を行っていく。				
									H25	上記のとおり	上記のとおり実施中【実施箇所】登別西小学校校舎(5棟)、梶別東小学校校舎(2棟)	上記のとおり																									H26	上記のとおり	
									H26																													H26	
									合計															4,200	12,150	0	0	0	0										
16	3-①	中学校耐震診断等事業 52231014	教育委員会 総務G(教育)	H21	H26	ソフト	一般会計	大型地震の発生に備え、安全・安心な教育環境を整備する事を目的とする。	H25	市内中学校	耐震化優先度調査の結果に沿って、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物の耐震性能を把握するため、耐震診断(2次診断)を行った。【実施箇所】登別中学校校舎(6棟)	建物等の耐震改修の促進に関する法律、地震防災対策特別措置法、学校教育法	診断対象棟数	棟	6	2						国庫支出金	社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)	1,732	2,811							H25以前	終了	生徒が学習する場である学校施設の地震に対する安全確保の推進が図られる。	平成26年度で事業終了。 耐震診断の結果を踏まえ、計画的に耐震改修等を行っていく。				
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施中【実施箇所】梶別中学校校舎(5棟)	上記のとおり																									H26	上記のとおり	
									H27																													H27	
									合計															6,584	8,640	0	0	0	0										
17	3-①	小学校周辺整備事業 52231015	教育委員会 総務G(教育)	H4	-	ハード	一般会計	児童等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。	H25	市内小学校	小学校の敷地内の遊具や舗装、雨水排水、グラウンドの排水等、屋外教育環境の改善を行った。【改修実績】若草小学校遊具取替工事	学校教育法	対象小学校(改修等)	校	1	2	0	1	1	0	国庫支出金											H25以前	維持	老朽化や改善が必要な施設を計画的に改修することにより、教育環境の改善及び向上を図る必要があることから、今後も事業を継続することが相当と考えるが、市内小学校整備における優先順位を考慮し、平成27年度は事業を休止し、平成28年度以降の事業実施を検討する。	平成27年度は事業を休止するが、今後も児童等が安全で安心な学校生活をおくれるよう、計画的に教育環境整備を実施していく。				
									H26	上記のとおり	上記のとおり【改修実績】登別小学校グラウンド排水改修工事 青葉小学校遊具取替工事	上記のとおり																									H26	上記のとおり	
									H27																													H27	
									合計															1,229	1,868	0	1,518	1,518	0										

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグル ープ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do																Check		Action												
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H27)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)													
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施設 名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称	H25 決算	H26 決算				H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案								
18	3-①	中学校周辺 整備事業	教育委員 会	総務 G(教育)	H4	-	ハード	一般 会計	生徒等が安心して 学校生活を送る ことが出来るよう 、教育環境の改善 を図ることを目的 とする。	H25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対象中学校 (改修等)	校	0	1	2	1	0	0	国庫 支出金	-	-	-	-	-	-	H25 以前	維持	老朽化や改善が必要な施設 を計画的に改修することにより 、教育環境の改善及び向上 を図る必要があることから、 今後も事業を継続することが 相当と考える。	今後も、生徒等が 安全で安心な学校 生活をおくれるよう 、教育環境整備 を実施していく。
										H26	市内中学校	中学校の学校敷地内の遊具や舗装、雨水排水、グラウンドの排水等、屋外教育環境の改善を行った。 【改修実績】 登別中学校グラウンド防球フェンス増設工事	学校教育法	-	-	-	-	-	-	-	-	地方債	-	3,800	9,500	5,700	-	-	-	H26	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。							
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中 【平成27年度事業】 登別中学校グラウンドフェンス整備工事 緑陽中学校法面復旧工事	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源	-	1,352	3,260	2,027	-	-	-	H27	上記のとおり							
										合計	-	0	5,152	12,760	7,727	0	0	-	-	-	-																	
19	3-①	中学校耐震 化改修事業	教育委員 会	総務 G(教育)	H21	-	ハード	一般 会計	地震に対して倒 壊等の危険性が ある校舎等の耐 震改修を行うこと により、安全・安 心な教育環境を整 備することを目的 とする。	H25	市内中学校	耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため、耐震改修に係る実施設計を行った。 【事業実績】 登別中学校校舎耐震改修実施設計委託	学校教育法、建物 等の耐震改修の促 進に関する法律、 地震防災対策特別 措置法	対象中学校（耐震 化改修工事・工事 管理費）	校	0	1	0	0	1	0	0	国庫 支出金	学校施設環境改善 交付金、地域の元気 臨時交付金（H25のみ）	1,764	86,397	-	-	15,000	H25 以前	維持	耐震化されていない学校施設 を計画的に整備する必要が あるため、今後も事業を継続 することが相当と考えるが、 教育施設全体の整備計画を考 慮し、平成27年度は事業を休 止し、平成28年度から計画的 に事業を行う。	大型事業推進プ ランに基づき、計 画的に耐震化事業 を進めていく。					
										H26	上記のとおり	耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため耐震化を行う。 また、老朽化している内外部の改修も併せて実施した。 【耐震補強の進め方】耐震診断（2次診断）→実施設計→耐震補強工事 【改修実績（平成25年度からの繰越事業）】登別中学校校舎耐震改修工事、登別中学校校舎外壁改修工事、登別中学校校舎外壁改修工事、登別中学校校舎耐震改修工事監理委託	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	地方債	8,400	140,800	-	9,000	100,600	-	-	-				H26	上記のとおり			
										H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源	1,050	943	-	3,000	26,203	-	-	-				H27	-			
										合計	-	11,214	228,140	0	12,000	141,803	0	-	-	-	-																	
20	3-①	小学校耐震 改修事業	教育委員 会	総務 G(教育)	H22	-	ハード	一般 会計	地震に対して倒 壊等の危険性が ある校舎等の耐 震改修を行うこと により、安全・安 心な教育環境を整 備することを目的 とする。	H25	市内小学校	耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて、耐震補強などにより学校施設の耐震化等を行った。 【改修実績（平成24年度からの繰越事業）】 ・登別小学校（屋内運動場耐震改修工事実施設計委託、屋内運動場補修・大規模改修工事監理委託、屋内運動場補修・大規模改修工事外3工事（屋根、電気、機械） ・富岸小学校（屋内運動場耐震改修工事実施設計委託（完成分）、屋内運動場補修・大規模改修工事監理委託、屋内運動場補修・大規模改修工事外3工事（電気、機械）	学校教育法、建物 等の耐震改修の促 進に関する法律、 地震防災対策特別 措置法	対象小学校（耐震 改修）	校	2	0	1	1	0	2	0	2	0	0	国庫 支出金	学校施設環境改善 交付金	104,852	-	58,300	-	-	44,966	H25 以前	維持	耐震化されていない学校施設 を計画的に整備する必要が あるため、今後も事業を継続 することが相当である。	大型事業推進プ ランに基づき、計 画的に耐震化事業 を進めていく。	
										H26	上記のとおり	耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて、学校施設の耐震性能を確保するため、耐震改修に係る実施設計を行う。 【事業内容】 青葉小学校校舎耐震改修工事実施設計委託	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	地方債	161,900	4,600	137,800	10,100	17,000	132,600	-	-	-	H26	上記のとおり					
										H27	上記のとおり	耐震診断（2次診断）の結果を踏まえて、耐震補強などにより学校施設の耐震化等を行う。 【改修実績（平成27年度事業）】 ・青葉小学校校舎耐震改修工事工事監理委託（校舎耐震改修工事監理委託、校舎耐震化改修工事外3工事（屋上防水、外壁改修、屋外階段改修）	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源	263	1,610	13,370	3,445	5,705	22,061	-	-	-	H27	上記のとおり					
										合計	-	267,015	6,210	209,470	13,545	22,705	199,627	-	-	-	-																	
21	3-①	登別小学校 改修事業	教育委員 会	総務 G(教育)	H24	-	ハード	一般 会計	老朽化した学校 施設を改修するこ とにより教育環境 の改善、地域コ ミュニティーの場 として活用できる よう整備を図るこ とを目的とする。	H25	登別小学校	平成24年度に実施した「小学校耐震化改修事業」の結果、校舎と屋内運動場の全面改修を行うとともに、既設建物の解体及びグラウンド等の屋外環境の整備を行う。 【改修】耐震診断（2次診断）又は耐力調査→基本設計・現況測量・地質調査→実施設計→改修工事 【平成25年度事業】登別小学校改修工事実施設計委託	学校教育法、建物 等の耐震改修の促 進に関する法律、 地震防災対策特別 措置法	実施設計進捗率	%	100	100	-	-	-	-	-	-	-	国庫 支出金	地域の元気臨時交付金 (H25のみ)、学校施設 環境改善交付金、公立 学校整備費国庫負担金	9,617	273,027	78,674	264,889	61,000	H25 以前	維持	老朽化により学校施設や耐 震補強が困難な学校施設を改 修する必要があるため、事業 を継続することが相当である。	大型事業推進プ ランに基づき、計 画的に改修事業を 進めていく。			
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【改修】耐震診断（2次診断）又は耐力調査→基本設計・現況測量・地質調査→実施設計→改修工事 【平成26年度事業】登別小学校屋内運動場改修工事、登別小学校プール解体工事、登別小学校屋内運動場改修工事監理委託	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	地方債	51,700	260,800	294,300	944,100	180,000	-	-	-	H26	上記のとおり						
										H27	上記のとおり	上記のとおり 【改修】耐震診断（2次診断）又は耐力調査→基本設計・現況測量・地質調査→実施設計→改修工事 【平成27年度事業】登別小学校校舎改修工事、登別小学校既存体育館解体工事、登別小学校校舎改修工事監理委託	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源	54	6,659	8,555	221,129	142,000	-	-	-	H27	上記のとおり						
										合計	-	61,371	540,486	381,529	1,430,118	383,000	0	-	-	-	-																	
22	3-①	中学校暖房 設備改修事業	教育委員 会	総務 G(教育)	H26	-	ハード	一般 会計	暖房能力の低下で 支障をきたしてい る箇所を改修し、 教育環境の改善を 図ることを目的と する。	H25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	国庫 支出金	学校施設環境改善 交付金	-	7,204	-	-	-	-	H25 以前	終了	現状で、全体更新が必要な 施設がないことから、事業を終 了する。	全体更新が必要 な暖房設備がある 場合、改修を行い 教育環境の維持、 向上を図っていく。					
										H26	市内中学校	中学校の老朽化した暖房設備の改修を行った。 【改修実施箇所】 緑陽中学校屋内運動場暖房設備改修工事	学校教育法	-	-	-	-	-	-	-	-	地方債	-	16,600	-	-	-	-	-	-				H26	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。			
										H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源	-	508	-	-	-	-	-	-				H27	-			
										合計	-	0	24,312	0	0	0	0	0	-	-	-																	

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do																Check		Action														
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H27)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価		評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方向 性 【H28以降】												
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、道 教員名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称	H25 決算	H26 決算						H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案								
28	3-③	言語障害通 級指導教室 運営経費	教育委員 会	学校 教育 G	S59	-	ソフト	一般 会計	言語障害がい児 教育の充実・伸展を 図ることを目的と する。	H25	言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室 を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相 談、言語指導を行った。 【通級児童数】幼児部47人、小学部52人、計99人 【指導時間】適当たり1時間児童97人、適当たり2時間児童 2人、適当たり3時間児童0人 ※本事業の基礎に係る人件費（幼児部のみ）4,931千円 （財源：市4,931千円） 小学部の人件費は、北海道で負担。（観別小学校に配置）	通級児童数 (小学部)	人	52	56	50	50	50	50	国庫 支出金										H25 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	拡大	本事業は、障がいに応じた特 別の指導を行い必要がある児 童に対して行われており、市 が事業を実施することは妥当 である。また、個別指導を通 じて自立心を養う重要な事業 であり、一人ひとりに適合し た指導が行われている。	今後とも言語治療 を必要とする幼 児・児童の個別指 導への環境を整え ながら、言語障 がい教育の充実を 図っていくととも に、観別小学校の 使用開始時の諸事 務を考慮しながら、開設時期を検 討する。						
										H26	上記のとおり 【通級児童数】幼児部43人、小学部56人、計99人 【指導時間】適当たり1時間児童97人、適当たり2時間児童 2人、適当たり3時間児童0人 ※本事業の実施に係る人件費（幼児部のみ）4,954千円 （財源：市4,954千円） 小学部の人件費は、北海道で負担。（観別小学校に配置）	通級児童数 (幼児部)	人	47	43	50	50	50	50	地方債																H26	上記のとおり			
										H27	上記のとおり																										H27	平成30年度に向けて、現在1 カ所（観別小学校）の教室を 観別小学校の改築後に、新た に1カ所の開設を予定してい る。		
										合計														144	175	186	186	186	372											
29	3-④	登別市教育 研究会運営 事業費補助 金	教育委員 会	学校 教育 G	S45	-	ソフト	一般 会計	教職員の職務遂 行上必要な専門性 の維持向上を図 り、市全体の教育 レベルの向上を図 ることを目的とす る。	H25	登別市教育 研究会 教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るために各 部会活動や研究会を行っている登別市教育研究会に対して、 活動に要する経費の一部を補助した。 【教育研究会の活動実績】 ・会員は、事務、養護、進路指導、コンピュータ、特別支援 教育、道徳、英語、保健体育、図工・美術、音楽、理科、算 数・数学、社会、国語の全14部会のうちいずれかの研究部会 に所属し、活動等を実施した。（研究会の開催（計5 回） ・運営委員会の開催（計4回）	登別市補助金等の 事務取扱に関する 規程	回	5	5	5	5	5	5	5	国庫 支出金										H25 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	本事業の実施により、教職員 の知識、指導力等の資質向上 を図ることは、市全体の教育 レベルの向上に資することか ら、今後も事業を継続するこ とが相当である。	事業の継続を図 り、教職員の知 識、指導力等の資 質向上を推進して いく。					
										H26	上記のとおり	上記のとおり																									H26	上記のとおり		
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	運営委員会	回	5	4	4	4	4	4	4	一般 財源																H27	上記のとおり	
										合計														650	600	600	600	600	600											
30	3-④	教育実践研 究奨励事業	教育委員 会	学校 教育 G	S45	-	ソフト	一般 会計	実践奨励校での 教育実践研究を 実施し、その成果を 市内小中学校で共 有することにより 、教育レベルの 向上を図ることを 目的とする。	H25	実践奨励校ごとに研究主題に沿った研究を行い、その成果として 作成する研究紀要にかかる費用を負担した。 【実践奨励校の事業内容】学校独自又は近隣校と共同で組織的、 前向きに研究を実施。（研究の領域・分野は、学習指導、道徳教 育、教育課程等17分野で事前に教育委員会から指定を受ける必要 がある。） 【実践奨励校：8校】 （新規）観別東小学校、観別小学校、若草小学校、観別西小 学校、観別中学校 （継続）観別小学校、富岸小学校、観別中学校	登別市教育実践研 究奨励校実施要項	校	8	9	10	10	10	10	10	国庫 支出金										H25 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	教職員の資質向上と学校教 育の充実を図る上で重要な事 業である。	今後も研究結果 の発表など結果 の共有化を行い、 教職員の資質向上 と学校教育の充実 を図る。					
										H26	上記のとおり	上記のとおり																									H26	上記のとおり		
										H27	上記のとおり	上記のとおり																										H27	上記のとおり	
										合計														428	298	525	525	525	525											
31	3-⑩	学校図書シ ステム広域 化事業	教育委員 会	学校 教育 G	H23	-	ソフト	一般 会計	「定住自立圏形成 協定に基づく連携 事業」として、学 校図書システムを 共同利用すること により、更新費用 等の縮減とセキュ リティの強化及び 運用の効率化・安 定化を図ることを 目的とする。	H25	室蘭市と室蘭市で共同開発を行った学校図書システムの 運用にかかる経費を負担金として室蘭市へ支払った。 ※当該システムは、WEB、メール、プロキシ、ファイル 等のサーバを統合し、2市1町で共同利用しており、サー バの管理及び運用は室蘭市で実施している。室蘭市にヘル プデスクを開設し、ITの専門知識を有する選任の嘱託員 が、各小中学校からの照会や不具合対応に係る業務を行っ た。	システムの稼働実 績日数	日	365	365	366	365	365	365	国庫 支出金											H25 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	事業実施にデメリットがな く、定住自立圏形成協定に基 づく連携事業として、必要性 の高い事業である。また、管 理運用面での効率化とセキュ リティの強化も図られ、費用 対効果が高い事業である。	今後においても、 当該システムを共 同利用することに より、運用費用の 縮減、セキュリ ティの強化、運用 の効率化・安定化 を図る。					
										H26	上記のとおり	上記のとおり																									H26	上記のとおり		
										H27	上記のとおり	上記のとおり	システムダウンの 回数	回	0	0	0	0	0	0	一般 財源																	H27	上記のとおり	
										合計														771	778	783	783	783	783											
32	3-⑨	情報教育シ ステム広域 化事業	教育委員 会	学校 教育 G	H23	-	ソフト	一般 会計	「定住自立圏形成 協定に基づく連携 事業」として教育 情報センター機能 を室蘭市に移転・ 集約し、システム の管理及び運用を 室蘭市に一元化す ることに により、運用・更新 経費の縮減やセキ ュリティの強化 及びシステム運用 の効率化・安定化 を図ることを目的 とする。	H25	室蘭市、壮瞥町とともに共同開発した教育情報センター の運用に係る経費を負担金として室蘭市へ支払った。 ※当該システムは、WEB、メール、プロキシ、ファイル 等のサーバを統合し、2市1町で共同利用しており、サー バの管理及び運用は室蘭市で実施している。室蘭市にヘル プデスクを開設し、ITの専門知識を有する選任の嘱託員 が、各小中学校からの照会や不具合対応に係る業務を行っ た。	システムの稼働実 績日数	日	365	365	366	365	365	365	国庫 支出金												H25 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はありま せん。	維持	事業実施によるメリットが 大きく、定住自立圏形成協定 に基づく連携事業として、必 要性の高い事業である。ま た、管理運用面での効率化と セキュリティ強化も図られ、 費用対効果の大きい事業であ る。	今後においても、 当該システムを共 同利用することに より、運用費用の 縮減、セキュリ ティの強化、運用 の効率化・安定化 を図る。				
										H26	上記のとおり	上記のとおり																									H26	上記のとおり		
										H27	上記のとおり	上記のとおり	システムダウンの 回数	回	0	0	0	0	0	0	一般 財源																		H27	上記のとおり
										合計														7,145	7,142	7,328	7,328	7,328	7,328											

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do																Check		Action						
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H27)における事業内容の 変更・改善等の状況								
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、数 額名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称	H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案		H29 予算案	H30 予算案	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)		
33	3-⑨	学校図書館 司書配置事 業	教育 委員会	学校 教育 G	H25	-	ソフト 一般 会計	学校図書館司書 を配置すること により、多様な読書 活動の企画を行う など、学校図書館 の機能向上を目的 とする。		配置校における図 書館利用児童数	人	8,437	12,366	13,000	13,000	13,000	13,000	国庫 支出金										H25 以前	環境整備等の業務を、専門知 識をもった職員が最大限に力 を発揮できるよう教育委員会 で学校を選定した。	拡大	学校司書が、児童の発達段階 に応じた本や、児童の想像力 を育てる本を選定・紹介する ことにより、より利用しやす い学校図書館の環境を整える ことが出来ているなどの成果 が上がっていることから、中 学校へ進学後も図書への興味 関心を維持し、尚且つ生徒の 進路構想に役立つ本やより創 造性を培う本の選定・管理 等、小中学校の一貫した環境 を整えてニーズに応えられるよ う、中学校へ配置することの 検討が妥当である。	今後とも、図書の 整理・管理等を進 めながら図書室の 環境を整え、児童 の図書への興味関 心を増進させるよ うな多様な支援活 動等を行っていく とともに、その興 味関心を継続維持 できるよう中学校 への配置について 検討していく。
	52239003			H26	学校図書館司書 を2名配置し、子ど もが利用しやすい学 校図書館を実現す るための環境整備 を図るとともに、子 どもの読書活動を 推進するための活 動として、書籍の 陳列方法や内容紹 介、図書室内のレ イアウト変更等の 環境整備等を行 った。 【配置状況】鷺別 小学校、若草小学 校、幌別西小学 校、青葉小学校に 1校あたり週2日配 置 ※本事業の実施に 係る人件費 628千円（財源：市 628千円）																	H26	平成27年度に向けて、小学 校を対象とした配置につ いて検討していく。									
				H27	学校図書館司書 を4名配置し、子ど もが利用しやす い学校図書館を 実現するための環 境整備を図ると ともに、子どもの 読書活動を推進す るための活動と して、書籍の陳列 方法や内容紹介、 図書室内のレイ アウト変更等の 環境整備等を行 った。 【配置状況】全8 小学校に1校あた り週2日配置																											
										貸出冊数	冊	7,287	10,680	15,000	15,000	15,000	15,000	その他														
																		一般 財源		55	9	50	400	400	400			H27	全小学校に配置を完了。中 学校への配置を検討していく。			
																		合計	55	9	50	400	400	400								